

〈保健養護専攻における学習目標〉

保健養護専攻の教育理念は、栄養学を礎として、子どもの健全な発育発達と健康の保持増進に関する専門的な知識技能を教授研究し、子どもを愛し尊重する豊かな人間性と高い倫理観を備え、常に時代の要請に応える実践的で専門性の高い養護・保健・看護を担う教育者を養成することである。

具体的には、学校における食育、ヘルスプロモーション、健康科学を基盤にリーダーとなる養護教諭、保健科教諭、看護科教諭をめざす学生を育てる。近年の学校現場では、いじめ・不登校等、生徒指導上の諸課題への対応、特別支援教育の充実、外国にルーツをもつ児童生徒への対応など複雑かつ多様な課題に対応することが求められている。そのため、教員がこうした課題に対応できる専門的知識・技能を向上するとともに、社会から尊敬・信頼され、困難な課題に同僚と協働し、地域と連携して対応できる人材が求められている。本専攻では、このような社会のニーズを的確に捉えながら、総合的な人間力（豊かな人間性や社会性、コミュニケーション力、同僚とチームで対応する力、地域や社会の多様な組織等と連携・協働できる力）を持ち、目指す目標に向かい一人ひとりが邁進できるよう教育課程の編成を行っている。

〈取得できる資格と免許〉

【教員免許】養護教諭1種免許状、中学校教諭1種免許状「保健」、高等学校教諭1種免許状「保健」「看護」
【その他】食生活指導士1級、医療的ケア基礎講習認定（特定者用）、ピアヘルパー（日本教育カウンセラー協会）

〈カリキュラム・ポリシーと本専攻の特徴〉

本専攻におけるカリキュラム編成の特徴は、教育理念である「時代の要請に応える実践的で専門性の高い養護・保健・看護を担う教育者を養成する」ために実践（学校を始めとする臨地実習等での学び）と理論（大学での学び）の往還を意図して行うものである。

〈教育内容〉

1. 高大接続と広い視野を養う教育科目
 - ①初年次教育を必修として1年次に配置する
 - ②人間・社会・自然の多様性を理解するため、基礎・教養科目を学年に応じて配置する
2. 保健・養護に関する体系的な深い専門科目の配置
 - ①本学の建学の精神に基づく栄養と食に関する科目を1年次に必修として配置する
 - ②専門基礎科目と専門科目の楔形配置により、1年次から容易に体系的理解ができるようにする
3. 講義と実習、演習を組み合わせた実践的教育体系
 - ①講義科目に対応する多くの実習・実験・演習科目を配置し、確実な知識定着と技術習得を促す
 - ②多様な臨地実習や教育実習を2年次から配置し、実社会での多様な課題解決能力を身につけさせる
4. 低学年からのキャリア教育、専門領域を意識づけして深める教育
 - ①1年次に初年次教育の一環として学校との連携による保健室訪問を開講する
 - ②2・3年次に自治体や各種団体、教育委員会と連携したインターンシップや長期学校体験実習を開講する
 - ③大学卒業後も見据えて、グローバル化、多様化、技術革新等に対応しうる専門性を深める教育体系を設ける

5. 総合化を促す科目の配置

- ①卒業研究や教職実践演習など、学びを総合的に活用する力や生涯学習力を高める科目を、3年後期から4年次にかけて配置する

〈教育方法〉

1. 系統的・基礎的知識の定着をはかるための授業形態

栄養学を中核とした学問的知識・技能の総合化・体系化をうながすために、講義・演習・実験等の授業に関連性をもたせる

2. 時代や社会の要請に応じた教育方法

専門的知識を生活（社会・自然・文化）と結びつけ生きた知識として内面化させ、世界観を描けるようにするために課題解決型・探求型授業方法を取り入れ、学生の興味・関心を引き出し、相互の学び合いを行う

3. 大学独自の専門的知識・技能を磨く教育方法

専門性を高め、科学的態度を修得し、専門家としての責任感・倫理感を養えるよう、調査・発表・討論・検証・報告（レポート・論文作成を含む）等の知的体験を取り入れる

4. 学生の自主的活動及び多機関との連携による体験学習

教員としての資質能力や高度な実践力を養うために、学生の自主的活動、および自治体・法人（企業、学校、その他）・NPO（市民団体等）等との連携を活用した体験型・課題解決型学習を取り入れる

5. 学生への支援体制

青年期特有の成長・発達の危機をのりこえるため、大学での学修・生活への適応をサポートし、外部機関との連携をはかり、資格取得を中心にキャリア支援をおこなう

学生自身が自己の学修成果を確認するため、学修評価の適正化に向け学内の自己点検機能を充実させる

〈評価〉

1. ポートフォリオ等を用いて自己の学修経験の振り返りを行い、その成果で評価する

2. 各学年で平常の成績・試験等による評価を行い、単位の取得とGPAによる評価を行う

3. 2年次終了時には、学則に定める進級制度により3年次への進級の可否を判断する

4. 教職課程履修カルテや外部委託した学士力調査等を利用して、4年間の成長を把握する

5. 卒業研究や教職実践演習等の成績と各種資格取得で判断する

〈ディプロマ・ポリシー〉

保健養護専攻においては、本学に4年以上（編入生は2年以上）在籍し、本専攻が指定する卒業必修科目と指定の科目群から124単位以上を修得して、下記に記す目標達成をもって学位授与基準とする。

（知識・理解）

1. 人間・社会・自然の多様性を広く理解し、自らの専門分野の意義と位置づけを説明できる

2. 栄養学を基礎として、食・健康・教育に関する専門的な知識がしっかりと身につけている

（汎用的能力と専門的スキル・実践力）

3. 子どもを理解し、心身の健康や発育発達上の課題を見極め、それを論理的思考に基づき解決する能力を身につけている

4. 健康管理と健康教育を推進する知識や技能を獲得し、それらを生かし企画・実行・調整・評価できる能力を身につけている

5. 栄養学に基礎をおく食・健康・教育の専門家として関係職種や機関と円滑に連携できるコミュニケーション力がある

(倫理観・使命感・社会的責任)

6. 豊かな感性や人間性を備え、子どもを愛し尊重する姿勢や態度、グローバルで自立した市民としての倫理観を持ち、専門家としての責任ある行動ができる
7. 子どもを中核とした人々の健康の保持増進のために、自らの果たすべき役割を理解し、リーダーシップを発揮できる

(総合力と創造的思考力)

8. これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる
9. 生涯を通じ専門性を追究し向上できる能力を身につけ、常に時代の要請に応えられる創造的思考力を持っている

〈履修カルテ・eポートフォリオの活用について〉

ディプロマ・ポリシーに照らし合わせ、どのような能力が身についたか、各学年各期で振り返り、獲得した能力や積み残した課題、今後発展させたい課題を確認する。各課題はカリキュラム・ポリシーにそって、取り組めるようカリキュラムマップを確認して履修する。なお、各自で履修カルテやeポートフォリオを活用し、学生自身が自己評価を行うだけでなく、毎学年各期で担当の教員も確認する。なお、記入された内容について担当教員が確認し、状況に応じて個別に指導を行う。

保健養護専攻 カリキュラムの組み立て【2022・2023年度入学生】

	1 年		2 年		3 年		4 年	
	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期
基礎・ 教養科目	人文科学分野	人文科学概論 選2	哲学 選2	文化芸術論 選2	社会心理学 選2			
		文化論 選2	美学 選2					
	食文化論 選2	文学 選2						
	心理学 選2	文化人類学 選2						
社会科学分野	社会科学入門 選2	社会学 選2	教育学 選2	歴史学 選2				
	地理学 選2	経済学 選2						
自然科学分野	ジェンダー・セクシュアリティ論 選2	日本国憲法 2ホホ						
	自然科学入門 選2	数学 選2	環境生態学 選2					
外国語分野	英語 I 選2	英語 II 選2	英語 III 選2		外国語コミュニケーション 2ホホ			
	ドイツ語 I 選2	ドイツ語 II 選2	ドイツ語 III 選2					
	フランス語 I 選2	フランス語 II 選2	フランス語 III 選2					
	中国語 I 選2	中国語 II 選2	中国語 III 選2					
専門基礎科目	医学基礎分野	医学概論 2ホ	生理学(動物性機能) 必2	感染制御学実習 必1		免疫学 必2		
		解剖学 2ホ	生化学 必2	病理学 必2				
	生理学(植物性機能) 必2	微生物学 必2	薬理学 2ホ					
栄養・ 食生活分野	実践栄養学 必2	栄養学・生化学実験 必1			食育論 選2		応用調理学実習 選1	
	基礎調理学実習 必1	食品学総論 必2						
		食品衛生学 必2						
		栄養学総論 必2						
臨床医学分野			臨床医学 必2	小児疾患学 必2				
養護・保健・ 看護分野	保健学総論 2ホ	環境保健学 2ホ	母子保健学 選1	学校救急看護学 必2	学校保健学総論 必2	母子看護学 2ホ	養護診断演習 選1	
	養護概説 必2		基礎看護学 必2	看護学臨床実習指導 1ホ	学校精神保健 2ホ	学校保健学・安全各論 必2		
	社会福祉論 2ホ		健康相談活動論 必2	看護学臨床実習 2ホ	養護診断総論 2ホ	養護診断各論 2ホ		
			基礎看護学実習 1ホ	[学外実習]	養護・ヘルスプロモーション論 2ホ	ヘルスカウンセリング 1ホ		
			学校健康教育 2ホ		学校救急看護学実習 1ホ	保健社会調査論 選2		
			公衆衛生学 必2		保健室経営論 2ホ	保健統計学 選2		
					成人・老年看護学 2ホ			
教職・専門 教科分野	健康・スポーツ科学演習Ⅰ 必1	情報処理統計学 必2	長期学校体験実習指導 選2	健康・スポーツ科学演習Ⅱ 1ホ	特別支援コーディネーター(指導法を含む) 選2		看護科教育法Ⅰ 2ホ	
			情報処理統計学実習 1ホ	介護等体験実習講義 2ホ	保健科教育法Ⅱ 2ホ		看護科教育法Ⅱ 2ホ	
			長期学校体験実習 選4	保健科教育法Ⅲ 2ホ	教職養護論 選2			
			[学外実習]	看護科教育法Ⅰ(編入生) 2ホ	介護等体験実習講義 2ホ			
			保健科教育法Ⅰ 2ホ	看護科教育法Ⅱ(編入生) 2ホ	ヘルスプロモーション論実習 選1			
			実践体育運動療法 選2	保健科教育法Ⅳ 2ホ				
専門科目	保健養護特論Ⅲ [教職実践演習履修カルテガイド] 選2							
	保健養護特論Ⅰ [読書] 必1	共通特論Ⅴ 選2	保健養護特論ⅠⅩ 選2	共通特論Ⅴ 選2	共通特論Ⅺ 選2	保健養護特論Ⅶ [教員採用試験直前講座] 選2	共通特論Ⅴ 選2	共通特論Ⅺ 選2
	保健養護特論Ⅱ 必2	共通特論ⅩⅤ 選2	[英語アドバンスクラスⅠ]	[英語アドバンスクラスⅠ]	[英語アドバンスクラスⅠ]	[各種海外研修]	[英語アドバンスクラスⅠ]	[各種海外研修]
	[保健養護専攻初年次プログラム]	[英語アドバンスクラスⅡ]	共通特論ⅩⅧ 選2	共通特論Ⅵ 選1	共通特論ⅩⅤ 選2	共通特論ⅩⅤ 選2	共通特論ⅩⅤ 選2	共通特論ⅩⅤ 選2
	共通特論Ⅴ 選2	共通特論ⅩⅦ 選2	[キャリア講座2(社会人訪問型)]	[公務員採用試験入門講座]	[英語アドバンスクラスⅡ]	[英語アドバンスクラスⅡ]	[英語アドバンスクラスⅡ]	[英語アドバンスクラスⅡ]
	[英語アドバンスクラスⅠ]	[キャリア講座1(企業参加型)]	共通特論ⅩⅠ 選2	共通特論ⅩⅠ 選2				
			[各種海外研修]	共通特論ⅩⅢ 選2	共通特論ⅩⅨ [キャリア講座3(就職活動直結型)] 選2			
			[教育史]	共通特論ⅩⅤ 選2				
			[英語アドバンスクラスⅡ]					
教職科目	教職分野	教職論 2ホホ	総合的な学習の時間の指導法 1ホホ	教育原理 2ホホ	学校の制度 1ホホ	道徳教育論 2ホ	教育実習Ⅰ [学外実習] (通年) 2ホ	
				発達と学習の心理学 2ホホ	教育課程の基礎理論 1ホホ	特別活動論 1ホ	教育実習Ⅱ [学外実習] (通年) 2ホ	
					教育相談Ⅰ 1ホホ	教育方法及び技術 1ホ	養護実習 [学外実習] (通年) 4ホ	
					教育相談Ⅱ● 1ホ	(ICTの活用を含む) 2ホ	教職実践演習 (養護教諭) 2ホ	
					生徒指導論Ⅰ 1ホ	進路指導論 1ホ	教職実践演習 (看護教諭) 2ホ	
					生徒指導論Ⅱ● 1ホ	教育実習指導 1ホ	教職実践演習 (中・高) 2ホ	
					特別支援教育論 2ホ	養護実習指導 1ホ		

科目名の「ヨ」は養護教諭一種免許状取得のための科目
 科目名の「ホ」は保健科教諭(中学校・高等学校)一種免許状取得のための科目
 科目名の「カ」は看護科教諭(高等学校)一種免許状取得のための科目
 科目名中の「●」は保健科教諭・看護科教諭について、いずれかの単位を修得すること

保健養護専攻 カリキュラムの組み立て【2021年度入学生】

	1 年		2 年		3 年		4 年	
	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期
基礎・ 教養科目	人文科学分野	人文科学概論 選2	哲学 選2	文化芸術論 選2	社会心理学 選2			
		文化論 選2	美学 選2					
	食文化論 選2	文学 選2						
		文化人類学 選2						
社会科学分野	社会科学入門 選2	社会学 選2	教育学 選2	歴史学 選2				
	地理学 選2	経済学 選2						
自然科学分野	自然科学入門 選2	数学 選2	環境生態学 選2					
	化学 選2		物理学 選2					
外国語分野	生物学 選2							
	英語 I 選2	英語 II 選2	英語 III 選2		外国語コミュニケーション 2ホ			
外国語 I	ドイツ語 I 選2	ドイツ語 II 選2	ドイツ語 III 選2					
	フランス語 I 選2	フランス語 II 選2	フランス語 III 選2					
外国語 II	中国語 I 選2	中国語 II 選2	中国語 III 選2					
専門基礎科目	医学基礎分野	医学概論 2ホ	生理学(動物性機能) 必2	感染制御学実習 必1		免疫学 必2		
		解剖学 2ホ	生化学 必2	病理学 必2				
栄養・ 食生活分野	実践栄養学 必2	栄養学・生化学実験 必1			食育論 選2			応用調理学実習 選1
	基礎調理学実習 必1	食品学総論 必2						
臨床医学分野		食品衛生学 必2						
		栄養学総論 必2						
養護・保健・ 看護分野	保健学総論 2ホ	環境保健学 2ホ	母子保健学 選2	学校救急看護学 必2	学校保健学総論 必2	母子看護学 2ホ		養護診断演習 選1
	養護概説 必2		基礎看護学 必2	看護学臨床実習指導 1ホ	学校精神保健 2ホ	学校保健学・安全各論 必2		
社会福祉論 2ホ			健康相談活動論 必2	看護学臨床実習 2ホ	養護診断総論 2ホ	養護診断各論 2ホ		
			基礎看護学実習 1ホ	[学外実習]	養護・ヘルスプロモーション 2ホ	ヘルスカウンセリング 1ホ		
健康・スポーツ科学演習 I 必1			学校健康教育論 2ホ		学校救急看護学実習 1ホ	保健社会調査論 選2		
			公衆衛生学 必2		保健室経営論 2ホ	保健統計学 選2		
教職・専門 教科分野	健康・スポーツ科学演習 II 必1	情報処理統計学 必2	長期学校体験実習指導 選2	健康・スポーツ科学演習 II 1ホ	特別支援コーディネーター(指導法を含む) 選2			看護科教育法 I 2ホ
			情報処理統計学実習 1ホ	介護等体験実習講義 2ホ	保健科教育法 II 2ホ	教職養護論 選2		看護科教育法 II 2ホ
保健養護特論 I 必2			長期学校体験実習 選4	保健科教育法 III 2ホ	教職養護論 選2			
			[学外実習]	看護科教育法 I (編入生) 2ホ	介護等体験実習講義 2ホ			
			保健科教育法 I 2ホ	看護科教育法 II (編入生) 2ホ	ヘルスプロモーション論実習 選1			
			実践体育運動療法 選2	保健科教育法 IV 2ホ	保健科教育法 IV 2ホ			
総合分野	保健養護特論 II [教職実践演習履修カルテガイド] 選2							
	保健養護特論 I 必2	共通特論 XV 選2	共通特論 V 選2	保健養護特論 VII 選2	共通特論 V 選2	共通特論 XI 選2	保健養護特論 VI [教員採用試験直前講座] 選2	共通特論 V 選2
[保健養護専攻初年次プログラム]	[英語アドバンスクラス II]	[英語アドバンスクラス I]	[英語アドバンスクラス I]	[教員採用試験対策教職教養]	[英語アドバンスクラス I]	[各種海外研修]	[英語アドバンスクラス I]	[各種海外研修]
共通特論 V 選2	共通特論 XVII 選2	共通特論 XVIII 選2	共通特論 VI 選1	[公務員採用試験入門講座]	共通特論 XV 選2	共通特論 XV 選2	共通特論 XV 選2	共通特論 XV 選2
[英語アドバンスクラス I]	[キャリア講座1(企業参加型)]	[キャリア講座2(社会人訪問型)]	共通特論 XI 選2	[各種海外研修]	[英語アドバンスクラス II]	[英語アドバンスクラス II]	[英語アドバンスクラス II]	[英語アドバンスクラス II]
			共通特論 XIII 選2	[教育史]	共通特論 XIX [キャリア講座3(就職活動直結型)] 選2			
			共通特論 XV 選2	共通特論 XV 選2				
			[英語アドバンスクラス II]					
	保健養護特論 III [教職採用試験対策] 選2							
共通特論 I [読書] (通年) 選1*					保健養護特論 VII [教員採用試験対策論文指導] 選2			
共通特論 IX [アウト・ドア] (通年) 選2						演習 選2		卒業研究 選4
					保健養護特論 IV [救急法認定証取得者] 選2			
					保健養護特論 V [学校サポート活動] 選2			
					共通特論 II [家庭料理技能検定] 選2			
					共通特論 III [農園体験] (通年) 選2			
					共通特論 XIV [英語e-learning] (通年) 選2			
					共通特論 XVI [栄養学の背景に関する英語による講義] 選2			
教職科目	教職分野	教職論 2ホ	総合的な学習の時間の指導法 1ホ	教育原理 2ホ	学校の制度 1ホ	道徳教育論 2ホ	教育実習 I [学外実習] (通年) 2ホ	
				発達と学習の心理学 2ホ	教育課程の基礎理論 1ホ	特別活動論 1ホ	教育実習 II [学外実習] (通年) 2ホ	
					教育相談 I 1ホ	教育方法及び技術 2ホ	養護実習 [学外実習] (通年) 4ホ	
					教育相談 II ● 1ホ	進路指導論 1ホ		教職実践演習 (養護教諭) 2ホ
					生徒指導論 I 1ホ	教育実習指導 1ホ		教職実践演習 (中・高) 2ホ
					生徒指導論 II ● 1ホ	養護実習指導 1ホ		
					特別支援教育論 2ホ			

科目名の「ヨ」は養護教諭一種免許取得のための科目
 科目名の「ホ」は保健科教諭(中学校・高等学校)一種免許取得のための科目
 科目名の「カ」は看護科教諭(高等学校)一種免許取得のための科目
 科目名中の「*」は卒業の要件となる単位とし、必ず履修すること
 科目名中の「●」は保健科教諭・看護科教諭について、いずれかの単位を修得すること

保健養護専攻 カリキュラムの組み立て【2020年度入学生】

	1 年		2 年		3 年		4 年	
	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期
基礎・ 教養科目	人文科学分野	人文科学概論 選2	哲学 選2	文化芸術論 選2	社会心理学 選2			
		文化論 選2	美学 選2					
	食文化論 選2	文学 選2						
		文化人類学 選2						
社会科学分野	社会科学入門 選2	社会学 選2	教育学 選2	歴史学 選2				
	地理学 選2	経済学 選2						
自然科学分野	自然科学入門 選2	数学 選2	環境生態学 選2					
	化学 選2		物理学 選2					
外国語分野	英語 I 選2	英語 II 選2	英語 III 選2		外国語コミュニケーション 2ホ			
	ドイツ語 I 選2	ドイツ語 II 選2	ドイツ語 III 選2					
	フランス語 I 選2	フランス語 II 選2	フランス語 III 選2					
	中国語 I 選2	中国語 II 選2	中国語 III 選2					
専門基礎科目	医学基礎分野	医学概論 2ホ	生理学(動物性機能) 必2	感染制御学実習 必1		免疫学 必2		
		解剖学 2ホ	生化学 必2	病理学 必2				
		生理学(植物性機能) 必2	微生物学 必2	薬理学 2ホ				
栄養・ 食生活分野	実践栄養学 必2	栄養学・生化学実験 必1			食育論 選2		応用調理学実習 選1	
	基礎調理学実習 必1	食品学総論 必2						
		食品衛生学 必2						
		栄養学総論 必2						
臨床医学分野			臨床医学 必2	小児疾患学 必2				
養護・保健・ 看護分野	保健学総論 2ホ	環境保健学 2ホ	母子保健学 選2	学校救急看護学 必2	学校保健学総論 必2	母子看護学 2ホ	養護診断演習 選1	
	養護概説 必2		基礎看護学 必2	看護学臨床実習指導 1ホ	学校精神保健 2ホ	学校保健学・安全各論 必2		
	社会福祉論 2ホ		健康相談活動論 必2	看護学臨床実習 2ホ	養護診断総論 2ホ	養護診断各論 2ホ		
			基礎看護学実習 1ホ	[学外実習]	習・ヘルスプロモーション 2ホ	ヘルスカウンセリング 1ホ		
			学校健康教育論 2ホ		学校救急看護学実習 1ホ	保健社会調査論 選2		
			公衆衛生学 必2		保健室経営論 2ホ	保健統計学 選2		
					成人・老年看護学 2ホ			
教職・専門 教科分野	健康・スポーツ科学演習Ⅰ 必1	情報処理統計学 必2	長期学校体験実習指導 選2	健康・スポーツ科学演習Ⅱ 1ホ	特別支援コーディネーター(指導法を含む) 選2		看護科教育法Ⅰ 2ホ	
			情報処理統計学実習 1ホ	介護等体験実習講義 2ホ	保健科教育法Ⅱ 2ホ		看護科教育法Ⅱ 2ホ	
			長期学校体験実習 選4	保健科教育法Ⅲ 2ホ	教職養護論 選2			
			[学外実習]	看護科教育法Ⅰ(編入生) 2ホ	介護等体験実習講義 2ホ			
			保健科教育法Ⅰ 2ホ	看護科教育法Ⅱ(編入生) 2ホ	ヘルスプロモーション論実習 選1			
			実践体育運動療法 選2	保健科教育法Ⅳ 2ホ				
専門科目	保健養護特論Ⅱ [教職実践演習履修カルテガイド] 選2							
	保健養護特論Ⅰ 必2	共通特論XV 選2	共通特論V 選2	保健養護特論Ⅶ 選2	共通特論V 選2	共通特論XI 選2	保健養護特論Ⅵ [教員採用試験直前講座] 選2	
	[保健養護専攻初年次プログラム]	[英語アドバンスクラスⅡ]	[英語アドバンスクラスⅠ]	[教員採用試験対策教職教養]	[英語アドバンスクラスⅠ]	[各種海外研修]	共通特論V 選2	
	共通特論V 選2	共通特論XVII 選2	共通特論XVIII 選2	共通特論Ⅵ 選1	共通特論ⅤⅢ 選2	共通特論XV 選2	共通特論XI 選2	
	[英語アドバンスクラスⅠ]	[キャリア講座1(企業参加型)]	[キャリア講座2(社会人訪問型)]	[公務員採用試験入門講座]	[各種海外研修]	[英語アドバンスクラスⅡ]	共通特論XV 選2	
				共通特論XI 選2	共通特論XIX [キャリア講座3(就職活動直結型)] 選2		共通特論XV 選2	
				[教育史]			[英語アドバンスクラスⅡ]	
				共通特論XV 選2				
				[英語アドバンスクラスⅡ]				
				保健養護特論Ⅲ [教職採用試験対策] 選2				
共通特論Ⅰ [読書] (通年) 選1*				保健養護特論Ⅶ [教員採用試験対策論文指導] 選2				
共通特論Ⅸ [アウト・ドア] (通年) 選2						演習 選2		
				保健養護特論Ⅳ [救急法認定証取得者] 選2		卒業研究 選4		
				保健養護特論Ⅴ [学校サポート活動] 選2				
				共通特論Ⅱ [家庭料理技能検定] 選2				
				共通特論Ⅲ [農園体験] (通年) 選2				
				共通特論Ⅳ [英語e-learning] (通年) 選2				
				共通特論Ⅵ [栄養学の背景に関する英語による講義] 選2				
教職科目	教職分野	教職論 2ホ	総合的な学習の時間の指導法 1ホ	教育原理 2ホ	学校の制度 1ホ	道徳教育論 2ホ	教育実習Ⅰ [学外実習] (通年) 2ホ	
				発達と学習の心理学 2ホ	教育課程の基礎理論 1ホ	特別活動論 1ホ	教育実習Ⅱ [学外実習] (通年) 2ホ	
					教育相談Ⅰ 1ホ	教育方法及び技術 2ホ	養護実習 [学外実習] (通年) 4ホ	
					教育相談Ⅱ 1ホ	進路指導論 1ホ	教職実践演習 (養護教諭) 2ホ	
					生徒指導論Ⅰ 1ホ	教育実習指導 1ホ	教職実践演習 (中・高) 2ホ	
					生徒指導論Ⅱ 1ホ	養護実習指導 1ホ		
					特別支援教育論 2ホ			

科目名の「ヨ」は養護教諭一種免許取得のための科目
 科目名の「ホ」は保健科教諭(中学校・高等学校)一種免許取得のための科目
 科目名の「カ」は看護科教諭(高等学校)一種免許取得のための科目
 科目名中の「*」は卒業の要件となる単位とし、必ず履修すること
 科目名中の「●」は保健科教諭・看護科教諭について、いずれかの単位を修得すること